

健康課題を情報科学の応用によって解決し、
新たな価値やサービスの創出に貢献できる
高度情報専門人材を育成する



名桜大学大学院

健康情報学研究科 健康情報学専攻（仮称）

（修士課程2年制）

（新研究科の概要）

◎現在構想中であり、今後変更となる場合があります。

名称	名桜大学大学院 健康情報学研究科 健康情報学専攻（仮称）（修士課程2年制）
開設時期	令和9(2027)年4月
入学定員（収容定員）	6名(12名)
取得学位	修士（健康情報学）
修業年限	2年 ※社会人が就業を継続しながら学修するための長期履修制度の導入予定(3年) (大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例)
設置予定場所	沖縄県名護市為又1220-1

● 本研究科の特色（設置の理念）

本研究科では、地域の健康課題を情報科学の応用によって解決し、新たな価値やサービスを創出できる「高度情報専門人材」を育成することを教育研究上の目的としています。

そのために必要な知識と能力を身につけるための必修科目を配置します。また、「健康情報分野」において、専門的な理論と知識を修得し、これらを基盤として「特別研究」を通じて、「情報科学」と「健康科学」における研究方法を修得し、論理的思考力と情報収集・分析能力の向上を目指します。

● アドミッション・ポリシー

本研究科に入学を希望する人には、以下のことを求めます。

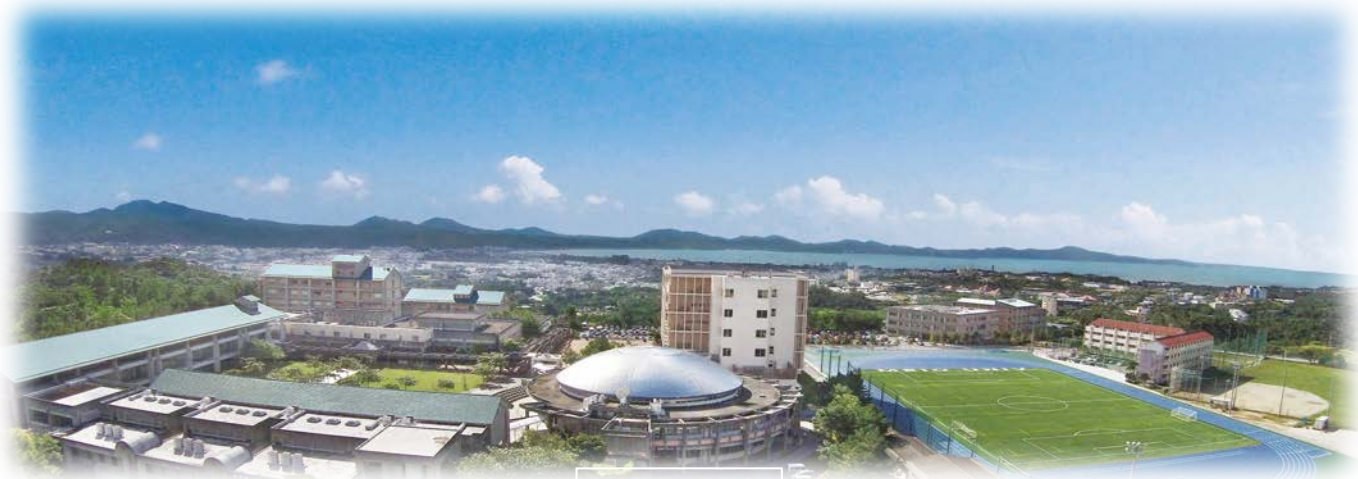
- ① 高い学修意欲を有し、現代社会の課題を理解・分析した上で、主体的に取り組む姿勢を有していること。
- ② 情報科学に関する基礎的な学力・技術・知識を有していること。
- ③ 人間の持続的な健康増進に興味・関心を有していること。

● 養成する人材像

健康分野、情報分野において新たな価値やサービスの創出に貢献できる「健康を応用分野とする高度情報専門人材」を育成する。

● 想定される進路

- ・データサイエンティスト / 情報技術者
- ・健康・医療・分析機関のITエンジニア
- ・健康産業のDX担当者 / 大学教員



■ カリキュラム（構想中・検討中）

科目区分	科目名
共通分野	健康情報学特論、健康情報学研究方法論Ⅰ、応用統計学特論、健康情報学研究方法論Ⅱ、公衆衛生学特論
健康情報分野	情報可視化特論、ヒューマンインターフェース特論、IoTシステム特論、人工知能特論、アルゴリズム特論 デジタルヘルス特論、ヘルスデータサイエンス特論、生命情報学特論、保健医療デジタルトランスフォーメーション特論、病態医学特論、健康心理学特論
研究指導科目	特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ

（修了要件：30単位以上） ・アンダーライン科目は必修を示す。

■ 初年度納付金

地域	入学金	授業料	初年度納付金合計※ ² ※ ³
地域内	125,000 円	535,800 円	660,800 円
地域外※ ¹	250,000 円	535,800 円	785,800 円

※¹ 地域外は、沖縄県北部 12 市町村以外の上学者を示します。

※² 別途諸経費等（後援会費、学生教育研究・災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険）が必要になります。

※³ 大学院学生研究支援補助金制度があります。

■ 競合校

大学院・研究科・専攻名等	所在地	入学金	授業料	初年度納付金合計※ ¹
琉球大学大学院理工学研究科 システム情報工学プログラム	沖縄県中頭郡西原町千原 1 番地	282,000 円	535,800 円	817,800 円

※¹ 別途諸経費等が必要になります。（上記金額は、大学のホームページ掲載情報（2025 年度）より引用しています。）

■ アクセス



▲ 名護市内地図

公立大学法人名桜大学
沖縄県名護市字為又 1220-1

● 高速バス（那覇空港→名護市バスターミナル）
【名護市バスターミナルまで】
☐ 那覇空港到着ロビーを出て、バス乗り場から高速バスに乗りします。約 1 時間 45 分

● 自動車
【一般道路国道 58 号線利用】
☐ 那覇空港から国道を北上して約 1 時間 30 分～2 時間

【沖縄自動車道利用】
☐ 那覇 IC ⇄ 許田 IC 車で約 1 時間 30 分
☐ 許田 IC ⇄ 名桜大学 車で約 15 分

■ お問い合わせ先

公立大学法人名桜大学 名桜大学総務企画部企画課
TEL：0980-51-1130（内線 4532）